

ビッグバンド配置図 記入用

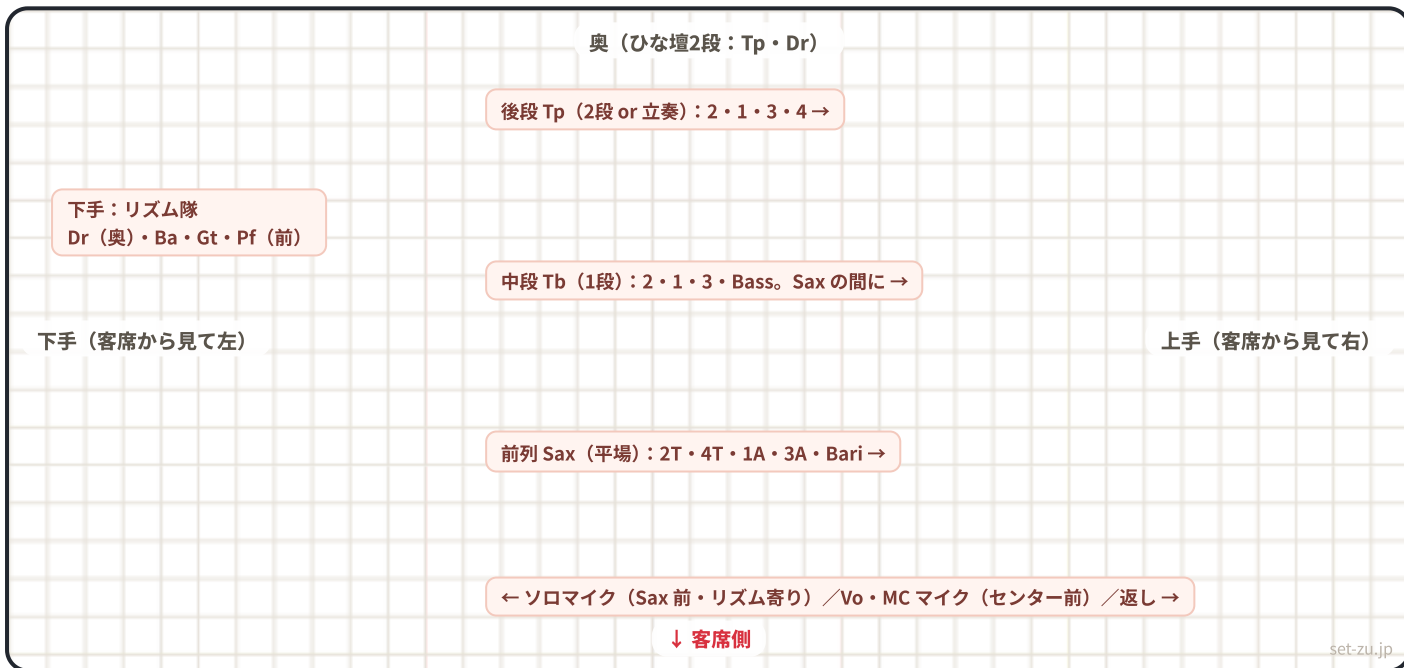
並びは**前列 Sax・中段 Tb・後段 Tp**
リズム隊は**下手にまとめる**
リードは**各列の中央**

バンド名（出演名義）	出演日・会場・イベント名	代表者名・連絡先（電話/メール）	人数（Sax・Tb・Tp・Rhythmの内訳）
------------	--------------	------------------	-------------------------

① セクション表（1行=1セクション。人数・並び・椅子と譜面台・マイク・段）

セクション	人数	並び（下手→上手）	椅子／譜面台	マイク（本数・用途）	段
Sax					
Tb					
Tp					
Rhythm					
Vo／MC					
その他					

② 配置図（上手・下手は客席から見た向き。3列＋リズム隊は片側）



書き方： □ 四角=奏者（パート番号を書く） ○ 丸=ドラム ↑ マイク（ソロ/Vo/セクション） ▴ 台形=返し

段は「1段」「2段」と列の横に注記

③ ひな壇・返し・電源・持込

ひな壇の段数と、載せるもの 標準=Tb 1段・Tp 2段。段がなければ Tp 立奏	返しの台数と位置 Vo・ソロ前に1台は必須	電源の口数と位置 Ba アンプ・Gt アンプ・Key・譜面灯	持込機材（ドラム・アンプ・キーボード） 持込と会場を分けて書く
---	--------------------------	-----------------------------------	------------------------------------

ビッグバンド配置図 記入例

記入例：17人+MC・ホール定期演奏会

Tb 1段・Tp 2段（立奏）

有線5本・返し3台

バンド名（出演名義）
〇〇大学 Jazz Orchestra

出演日・会場・イベント名
11/23（日）〇〇市民ホール 定期演奏会

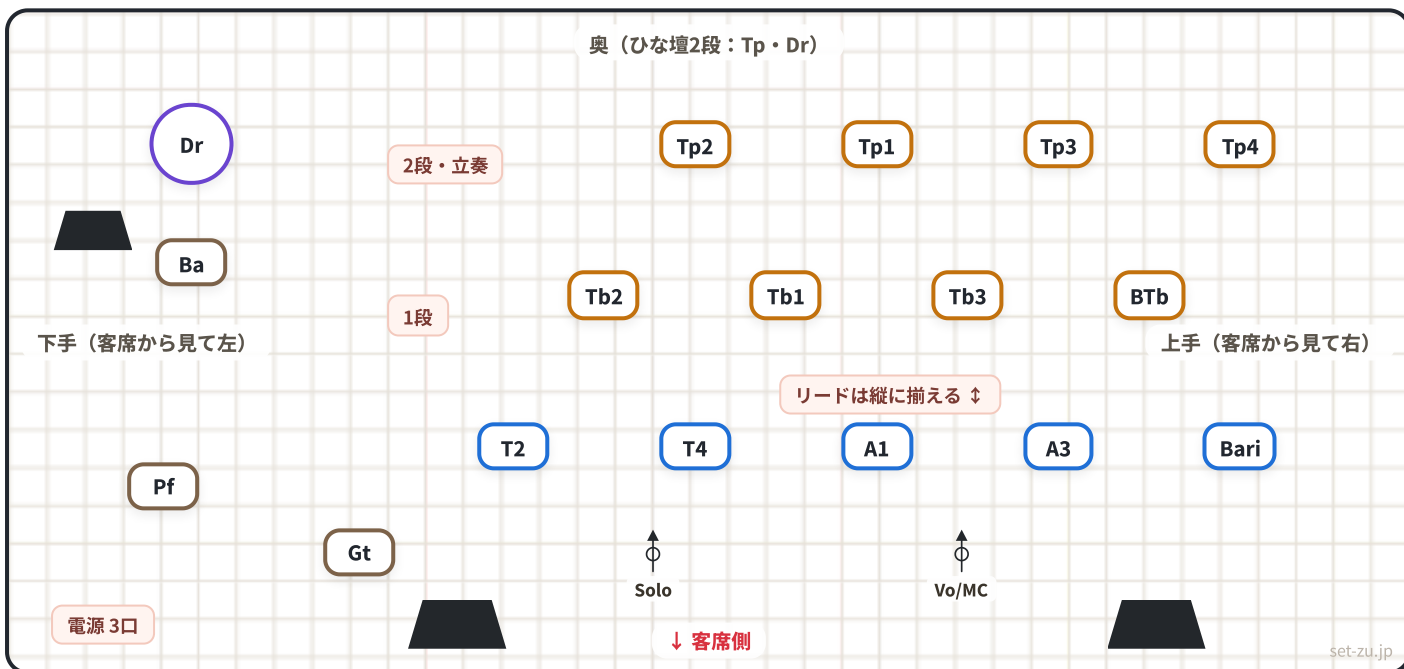
代表者名・連絡先（電話/メール）
山田 太郎 090-xxxx-xxxx

人数（Sax・Tb・Tp・Rhythmの内訳）
17人（Sax5・Tb4・Tp4・Rhythm4）+MC

① セクション表（1行=1セクション。人数・並び・椅子と譜面台・マイク・段）

セクション	人数	並び（下手→上手）	椅子／譜面台	マイク（本数・用途）	段
Sax	5	2nd T・4th T・1st A・3rd A・Bari	5脚／5台	ソロ用1本（センター前）	平場
Tb	4	2nd・1st・3rd・4th（Bass）	4脚／4台	なし（生）	1段（約20cm）
Tp	4	2nd・1st・3rd・4th	立奏／4台	なし（生）	2段（約40cm）
Rhythm	4	Dr（奥）・Ba・Gt・Pf（前）＝下手	Gt 1脚・ベース椅子1・ピアノ椅子	Ba DI／Pf 生（マイク2）／Dr TOP2	Dr だけ2段
Vo／MC	1	センター前	－／1台	SM58 1本+返し1台	平場
その他					

② 配置図（上手・下手は客席から見た向き。3列+リズム隊は片側）



書き方： □ 四角=奏者（パート番号を書く） ○ 丸=ドラム ⬆️ マイク（ソロ/Vo/セクション） ▴ 台形=返し

段は「1段」「2段」と列の横に注記

③ ひな壇・返し・電源・持込

ひな壇の段数と、載せるもの
Tb 1段・Tp+Dr 2段（高さは会場任せ）
標準=Tb 1段・Tp 2段。段がなければTp 立奏

返しの台数と位置
Vo/ソロ前に1台・Dr 横に1台
Vo・ソロ前に1台は必須

電源の口数と位置
下手に3口（Ba アンプ・Gt アンプ・譜面灯）
Ba アンプ・Gt アンプ・Key・譜面灯

持込機材（ドラム・アンプ・キーボード）
ドラム：スネア・シンバル・ペダル持込/Gt アンプ持込・Ba アンプは会場
持込と会場を分けて書く

ビッグバンドの配置 早見表 並び・ひな壇・マイク

段が1つなら**Tp は立奏**
マイクは**会場**で6〜20本

① セクション内の並び順（下手→上手＝客席から見て左→右）

セクション	並び（下手→上手）	理由・使っている楽団
サクソ①	2nd T → 4th T → 1st A → 3rd A → Bari	Ellington・Louie Bellson が使った形。テナー2人が隣で合わせやすい。楽器店メディアでは「近年の主流」
サクソ②	2nd T → 3rd A → 1st A → 4th T → Bari	Count Basie・Mel Lewis・秋吉敏子らの形。リードをアルト2人で挟み、ハーモニーが混ざる
トロンボーン	2nd → 1st → 3rd → 4th (Bass)	時代や楽団を問わずほぼ同じ。リードが中央、ソロの多い2ndがリズム隊側、バストロンボーンは上手端
トランペット	2nd → 1st → 3rd → 4th	トロンボーンと同じ。Sax・Tb・Tpのリードが縦一直線になるように置く

どの流儀でも共通なのは3つです。**2ndテナーは下手端**（ソロが多く、センターのマイクへ出やすい）、**リードアルトは中央**（両隣が聴いて合わせる）、**バリトンは上手端**（真後ろのバストロンボーンと低音をまとめる）。**リードを端に置く並びはありません**。

② ひな壇の段数と高さの実例

段	高さの実例	載せるもの・注意
段なし	ライブハウス・小さな会場	Tp は立奏。Tb の椅子は Sax の間、Tp は Tb の間に置き、前の人の背中に吹かない
1段	約15〜20cm	Tb（と Ba）を載せる。Tp は立奏で後ろから見せる。名古屋市のホールの1段＝＋15cm、Lakeside Jazz Festival の Tb 用＝8インチ（約20cm）
2段	約36〜42cm	Tp（と Dr）を載せる。Lakeside の Tp 用＝14インチ（約36cm）、名古屋市のホールの2段＝＋42cm
3段以上	約63〜68cm	ドラムだけ、または大編成の見せ場用。先に奥行が足りるかを会場に確かめる

ひな壇は**平台（ひらだい）**を**箱馬（はこうま）**や開き足で持ち上げて組みます。平台は3尺×6尺（約91×182cm）が基本単位で、高さは12cm前後（所沢市のホールの例）。箱馬は高さ18〜33cm（名古屋市は0.6尺、所沢市は33cm）。演者が決めるのは**段数と、何を載せるか**までで、組み方は舞台係が決めます。

③ マイクの本数（3場面の目安）

場面	拾い方	本数の目安
ホール	管は生音。ソロとボーカルだけマイク	ソロ用1〜2本+Vo/MC 1本+Ba（DI）+Pf・Drは薄く＝ 6〜8ch 。返しはVo・ソロ用に1〜2台
ライブハウス	セクションマイクで列ごとに拾う	Sax 2〜3本・Tb 2本・Tp 2本+ソロ1本+Vo/MC 1本+Dr（TOP2+Kick）+Ba DI+Gt 1+Pf/Key ライン＝約 14〜16ch
学祭・野外	全部マイクで拾う（生音が届かない）	Sax 5本・Tb 2本・Tp 2〜4本+ソロ1本+Vo 1本+Dr 3本+Ba・Gt・Pf＝約 18〜20ch 。持込PAの卓は24ch以上

この数字は「17人を何本で拾うか」の**目安**で、上限は会場のマイクと卓のch数で決まります。ビッグバンドのPAを20年続けている音響家は、管のマイクは**短いスタンド+グースネック**で足元を空け、金管はSM57、ドラムは**TOP2本が基本でキックは必要なときだけ**、各管セクションに**予備1ch**、卓は**24ch以上**と書いています。

④ ソロマイク・ボーカルマイクの位置

マイク	位置	書き方のコツ
ソロマイク	Sax 列の前、リズム隊寄り	ソロの多い2nd Tenor・2nd Tb・2nd Tp が一歩で出られる位置。管とリズム隊の間に 細い通路 を空ける
Vo/MC	センター前	ボーカルは マイク+返し1台 がセット。ソロマイクと兼用にしない（曲の途中で取り合いになる）
場立ちソロ	セクション前のグースネック	奏者が自分でマイクをベルに向ける。立って吹く Sax のソロはこれで足りる

搬入の数え方・変形・提出前チェック

17人の標準で数える

譜面台は1人1台+MC

椅子は管13脚（Tp 立奏なら9脚）

有線とワイヤレスは分けて書く

① 搬入チェックリスト（椅子・譜面台・譜面灯・平台・箱馬・電源）

品目	17人の標準	数え方のコツ
椅子	管13脚（Tp 立奏なら9脚）+Gt 1脚	ドラムはスローン持参、ピアノはピアノ椅子。ベースは立奏が高い椅子（「ベース椅子」を置くホールもある）
譜面台	18台（17人+MC/指揮）+予備1	1人1台が原則。低く寝かせて正面に。所沢市のホールは10台しかなく、半分は持込か借用
譜面灯	照明を落とすなら人数分	ホールの灯付き譜面台は数に限りがある（名古屋市のホールで62台）。電源の延長も一緒に頼む
平台	Tb 列=幅2枚×奥行2枚が目安	3尺×6尺（約91×182cm）が単位。4人の列は幅約3.6m。奥行は椅子+譜面台+スライドで1枚では足りない
箱馬・足	段ごとに会場が用意	箱馬（高さ18～33cm）や開き足で高さを作る。段数と高さだけ伝えれば組み方は舞台係が決める
電源	下手のリズム側に2～3口	Ba アンプ・Gt アンプ・キーボード・譜面灯。延長ドラムの位置も図に書く

有線とワイヤレスは分けて書きます。ワイヤレスは受信機の数が上限で、横浜・ミズキーホールは6本まで、新宿SAMURAI は5本。17人の管を全部ワイヤレスにする前提は成り立たないので、**管は有線（スタンド）、動く人だけワイヤレス**が基本です。

② 人数が欠けた・ボーカル入り・ピアノなし（変形）

変形	並びの変え方	図に書くこと
Tb 3・Tp 3	リードは中央のまま、4th の席を空ける	「Tb 3（Bass Tb なし）」と人数を書く。椅子・譜面台も減らす
Sax 4	バリトンなしなら上手端を空け、Bass Tb と Ba で低音	「Sax 4（Bari なし）」。2nd テナーは下手端のまま
ボーカル入り	センター前（Sax 列の前）に Vo マイク	ソロマイクと別に1本+返し1台。曲ごとの出入りはセットリストに
ピアノなし	Gt がピアノの位置（Sax の隣）へ	キーボード持込なら電源と DI×2（ステレオ）を書く
Tp 5本	「3・2・1・4・5」のように外側へ足す	5本目は4th と同じパートを重ねる。リードは重ねない

③ 提出前チェック（13項目）

並び

- ☐ 3列（Sax 前・Tb 中・Tp 後）になっている
- ☐ リズム隊は片側（下手）にまとめた
左右に分けない
- ☐ リードが各列の中央で、縦に揃っている
- ☐ 2nd テナーは下手端、バリトンは上手端
- ☐ Tb は Sax の間、Tp は Tb の間
スライドが前の人に当たらない

段と数

- ☐ ひな壇の段数と、何を載せるか
Tb 1段・Tp 2段、または Tp 立奏
- ☐ 椅子・譜面台の数が人数と合う
譜面台は1人1台+MC
- ☐ 譜面灯の数と電源の口数
- ☐ 平台の枚数は会場に確認した
奥行は2枚が目安

マイク

- ☐ ソロマイクの位置（Sax 前・リズム寄り）
- ☐ Vo/MC のマイクと返し
ボーカルは返し必須
- ☐ 有線○本・ワイヤレス○本を分けて書いた
- ☐ 持込機材に印（ドラム・アンプ・キーボード）

ファイル名の型

バンド名_出演日_配置図.pdf

例：〇〇大JO_1123_配置図.pdf（ホールが探しやすい）

セット図くんで作るなら

四角を3列に並べて**パート番号**を書き、ひな壇とマイクを添えるだけ。PDFと共有URLでそのまま提出できます（set-zu.jp/app/・登録不要）